

デーリー東北

2025年(令和7年)4月17日(木曜日) (13)

八工大多目的ホール一新

寄付金活用、学生に開放

八戸

八戸工業大(船崎健一学長)は本年度のスタートに合わせ、1号館2階にある多目的ホールを改修した。これ

ろぎ、交流する新たな居場所になれば」と願いを込める。

これまでは利用時以外は施錠し、自由に使える場所ではなかった。

改修は大学創立50周年に合わせて計画。50周年記念の寄付金と、7代目学長の故・高橋燦吉さんの遺族からの寄付金を活用して事業費約1500万円を用と設備を一新。4人掛けと1人掛けの机を配置して開放しており、関係者は「学生がくつ

一新したホールは「学生が集える場所」に加えてプロムナード(散歩道)がコンセプトで、3色のカーペットが芝生と菊の花に囲まれた散歩道を表現している。

「出会いや交流生まれる場に」

16日は報道向けの内覧会を開き、船崎学長が「大学の広い敷地内にいる学生が中央にあるホールに集い、出会いや交流が生まれる場になれば」とあいさつ。

同大敷地内には今月、北東北3県の大学では初めてファミリーマートが新店しており、「今後も大学の環境整備を進め、学生の利便性向上に取り組む」と述べた。



内装と設備を一新した多目的ホール。3色のカーペットで芝生と菊の花に囲まれた散歩道を表現している

ホールは用途に応じて一般貸し出しも可能。問い合わせは同大総務部へ電話0178(25)802111へ。(上條哲洋)

※この記事・写真等は、デーリー東北新聞社の承諾を得て転載しています。